

令和5年8月1日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 明るい未来を創る会

代表者氏名 清水 晃

会派の（ 調査研究 ・ 研修 ） 報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	令和5年7月26日（水）～ 令和5年7月27日（木）1泊2日
2 調査研究または 研修の場所	茨城県境町
	福島県塙町
3 調査研究事項 または研修名	教育、移住定住、子育て支援（境町）
	竹を活用した地域計画（塙町）
4 参加者氏名 （1名）	清水 晃
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

※ 自家用車又はレンタカーを使用した場合は、必ず自家用車・レンタカー使用報告書を添付してください。

(別紙)

教育、移住定住、子育て支援（境町）

[教育]

“英語移住しませんか？子育ていいとこ境町”をメインスローガンにし、様々な施策を実施している。

- 高校、専門学校、大学は、都内の学校に境町から通える
 - ・東京駅まで最短 90 分座ってらくちん通勤、通学
 - ・高速バス定期券が学割で半額（月額 21000 円）
- 保育園、小学生、中学生
 - ・先進英語教育が 0 円（英語もタダで受けられる）
- 境小学校大規模改造 (R2 年度総事業費約 3 億 3000 万円内国補助 2 億 2000 万円活用)

[移住定住]

- 境町 PFI 事業
 - ・地域優良賃貸住宅制度を活用し、建設費の約 50 パーセントを国、残り 50 パーセントは民間事業者が資金を調達して建設し、2021 年 4 月より入居を開始
- 定住促進戸建住宅事業
 - ・20 年住みつづけていただいた方に、土地、建物を無償譲渡する
 - ・2019 年～2021 年 1～4 期にかけて事業に取り組んでいる
 - ・2024 年には戸建とガレージハウスを含め全 1 08 戸満床となる

[子育て支援]

- ・3 人子育て中の境町の町長でも他市なら 65 万円かかるけど茨城県境町は 0 円
- ・子育て支援施設(総事業費約 1 億円内国の補助 7500 万円)
- ・S-WORK+KIDS
- ・屋内型キッズランド
- ・リモートワーク
- ・小学校低学年までを対象とし、雨の中でも思い切り遊べて、子どもを遊ばせながら働ける環境を提供している
- ・ニコニコパーク全天候型化(総事業費約 1 億 5000 万円内国の補助 1 億 1250 万円)

[まとめ]

誰もが生活の足に困らない町をめざし、自動運転バスを 3 台導入し、生活路線として片道 2.5Km のルートを実約 20 分で走行し、病院や郵便局、スーパー等日常生活に必要な施設付近に設置した停留所で停止する。バス料金は無料で運行ルートは順次拡大予定。さらに、住みやすいまちづくりが広がることで町民の安心感が増し、移住者が増え、にぎわいが増し、様々な財源確保により、新たな町民サービスができています。

そして、財政は 7 年間改善中である。

竹パウダーを使用した農業振興（埴町）

基幹産業のひとつである農林業は、人口流出、高齢化が急速に進み、担い手の不足などにより徐々に衰退してきている。耕作放棄地の拡大とともに竹林も広がってきており、この竹を資源とし、土壌改良材、竹パウダーを農業で活用する取り組みを進め、新たな仕事づくりや担い手など人材育成につなげる。

○平成 29 年地方創生推進交付金を活用する事業

- ・大規模産地にはマネできない、中山間地域ならではの農法
- ・農法は里山の草木の生態に学び、自然エネルギーと空気を利用する農業で、植繊機解繊物で地表面酸化層を作り栽培作土とし、施肥は地表に行い、播種は光発芽させる。

[まとめ]

かつては、地域で有効な資源として活用されていた竹も、今では、地域の厄介者になってしまいましたが、その厄介者を加工（竹パウダー）することで、有益な資源に変える。自然に習った農作物生産を行うことで、植物本来の力を引き出し、人間は植物にとって必要な手助けをすることを心がける。このような取り組みを通じて、地域の資源を有効に活用し、地域そのものを元気に、中山間地でも農業経営が成り立つ、そのような取り組みです。